

天国屋カフェ

張 さつき

(エッセイスト)

大阪から友人夫婦が引越してきた。新居が住吉川の傍なので、私は大喜びでコープこうべ最大店舗のシーアを案内した。神戸は何と言っ

た「生協」だからと自慢を始めたら、友人がでは「天国屋カフェ」を知っているかと。私は知らないと言い反対に友人の案内でその「天国屋カフェ」に連れて行って貰った。

三宮から国道2号線を大阪へ向かって歩く。勤労会館など通り越して、生田川を渡るとまもなく「賀川記念館入口」の看板が見えた。隣は葺合警察署。警察署まで行つてくると向きを変えるとモダンな建物が目に

入り、空を見上げると大きく「賀川記念館」の文字が見える。この4階にそのカフェはあるのだ。

友人と私はそこでランチを食べた。その日はマーボー豆腐、春雨サラダ、スープ、ご飯そしてゼリーが付いて500円。すべてポランティアの方の料理で美味しかった。その上雰囲気も素晴らしい。空気が優しく皆が笑顔なのが嬉しかった。ケーキセットは400円。これが又ブルーベリーがたっぷり入っていて最高。週3回11時から16時の予約はあるけれどすべてがポランティアであることと思うとなんとも稀有な力

フエで又来たくなった。ポランティアの方の多くは組合員さんの由。

このカフェは記念館の一隅にあり、この建物が賀川豊彦そのものであり、ここを訪れる人は賀川先生のすべてを知ることができるようになっている。私もカフェの横のミュージアムを見学した。先生が成された業績の膨大なこと、心が行き届いていることに驚嘆した。

先生は1888年神戸にて誕生。しかし4歳で既に両親と死別、徳島で成長。16歳で洗礼を受け21歳のとき、神戸の葺合で伝道を始めた。そして今私がお茶を飲んでい

であった。これが100年後「天国屋カフェ」として今再び受け継がれているのだ。その後先生は1960年までの生涯を友愛、互助、平和のために捧げ尽くされた。福祉活動、生活協同組合、労働運動、普選運動、農民運動、教育、医療、人権、共生など等と続き、戦後は戦争のない世界平和を求める活動へと進んでいる。これは3度にわたるノーベル平和賞候補となったことでもよくわかる。

ここには賀川豊彦の願いがいっぱいある。生きづらさを持った人やしんどい思いの人、高齢者も若人もとさまざまなたちがやってきて心のもった食事を。共に生きるという賀川豊彦の思いが実践され着実に生き生きと歩んでいることを私は実感した。